

# 当院予防センターで受診された方の余剰検体を対象とした 関節リウマチのバイオマーカーに関する研究

(研究課題名：免疫関連疾患の診断・治療を最適化する新規バイオマーカーの開発)

## 1. 研究の対象

2015年10月5日以降に当院 予防医療センターで受診され「健診後の余剰検体保存と研究利用」に検体を提供する事に同意された方を対象とします。

(上記の方以外にも当院リウマチ膠原病センターで2017年10月5日以降に「膠原病バイオバンク」に検体を提供する事に同意された方も対象となります)

## 2. 研究の目的・方法

現在、みなさんがどのような免疫状態にあるかを判断するマーカー（指標）というものは限られています。今回の研究では、免疫に関係のある疾患である関節リウマチの患者さんと関節リウマチを罹患していない健診受診者さんの血液を比較することで、免疫状態を簡単に把握することができる新しいバイオマーカーの評価を目的としております。

バイオマーカーとは、ある疾患の有無や病状の変化、治療の効果の指標となる項目や生体内の物質のことを言います。バイオマーカーとして使用されるものは、主に血圧や心拍数、及び血液中に測定されるタンパク質といった生体由来のデータです。今回探索するバイオマーカーは血中の微細な遺伝子(miRNA)を標的として評価します。

なお、この研究では診療録(カルテ)に記載された内容と既に保管されている検体を使用するため、この研究のための追加の医療行為は行われません。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

«情報» 病歴、投薬歴、血液マーカーの値 等

«試料» 「健診後の余剰検体保存と研究利用」で保存した血清検体  
「膠原病バイオバンク」で保存した血清検体

## 4. 外部への試料・情報の提供

外部への発表でデータを使用する場合は、個人情報と結びつかないように匿名化された形で使用します。匿名化したIDと個人情報の突合表や本研究のデータは研究責任者が責任をもって保管・管理します。

## 5. 研究責任者の所属：聖路加国際大学 研究センター バイオバンク室

(共同研究者の所属：聖路加国際病院 リウマチ膠原病センター、附属クリニック 予防医療センター 一般内科)

(2022/7/1 作成)